

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保育の思想と歴史 History of the Development of early Childhood education		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(保育士養成課程選択必修)	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教育原理 教育方法論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教育課程概説 教職実践演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
藤原保利	本館2階	火・水・木・金の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
アメリカ・ヨーロッパにおける就学前教育の政策と保育・教育の歴史を中心に講義し、日本の幼児教育、保育の改革の方向性を考える。特にアメリカのハイ・スコープとイタリアにおけるレッジョ・エミリアの保育思想、保育内容、保育方法、歴史的発展を参考にその課題にアプローチする。				
授業の目標				
①欧米諸国の幼児教育の発達史を時代背景とともにその特徴を説明することができるようにする。 ②米諸国の保育思想に基づく幼児教育の目的、内容、方法の特質を習得できるようにする。 ③我が国の保育の現状に照らして、それぞれの長所、短所を正しく、比較、分析、識別することができるようにする。 ④欧米の保育の優れた点を日本の保育の課題解決に活用することができるようにする。				
授業の方法				
基本的に板書を中心とした講義形式で行う。適宜各国の保育実践のDVDを視聴する。単元終了毎に小テストを行う。学期末にレポート提出を求める。「調べる・考える学習」を重視した授業の展開を図る。				
学習の成果(学習成果)				
①アメリカ・ヨーロッパ(特にイタリア)を中心に就学前教育・保育の発展の歴史を俯瞰し、グローバルな視点で日本の保育の歴史的展開を総括することができる。 ②アメリカ(ハイ・スコープ)・イタリア(レッジョ・エミリア)を中心とする欧米の就学前教育・保育の先端的保育実践(テーマ保育・プロジェクトアプローチ等)の現状についての認識を深め、その展開を図ることができる。 ③併せて日本の幼児教育・保育のカリキュラムと方法の改革の方向性を主体的に考究することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 授業の概要と進め方の説明 レポートのテーマと提出期限等について説明			
第2回目	アメリカ就学前教育・保育運動のヨーロッパの起源			
第3回目	アメリカにおける幼児学校と家庭学校			
第4回目	フレーベルとドイツの幼稚園運動 <小テスト>			
第5回目	アメリカにおける初期の公・私立幼稚園			
第6回目	アメリカにおける無償幼稚園運動と保育の論理			

第7回目	アメリカにおける公立幼稚園の創設 <小テスト>		
第8回目	アメリカにおける私立保育学校の出現		
第9回目	現代のアメリカにおける乳幼児教育(保育)の現状と課題		
第10回目	アメリカにおけハイ・スコープの幼児教育理論とカリキュラム—アクティブラーニングを中心に— <小テスト>		
第11回目	イギリスにおける幼児教育の史的展開とナショナルカリキュラムについて 教育と「チャイルドケア」の統合		
第12回目	スウェーデンにおける幼児教育の史的展開と就学前カリキュラムについて 就学前学校の実践と新しい保育制度		
第13回目	イタリアにおける幼児教育の史的展開とレッジョ・エミリア レッジョ・エミリアの保育実践 <小テスト>		
第14回目	レッジョ・エミリア・アプローチの基礎(デューイ、ヴィゴツキー、ピアジェ) 試験		
第15回目	欧米の幼児教育理論と実践の総括		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問する等々。(詳細はガイダンス時に説明する)
	レポート	20%	詳細に課題を探索し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。(詳細はガイダンス時に説明する)
	調査報告書		
	小テスト	20%	単元終了時に小テストを4回実施する。授業や教科書に書かれている内容が十分に表現されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
	試験	50%	論述式である。設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び教科書に書かれている範囲を超え、自分の考え方が示されている。(詳細はガイダンス時に説明する)
	発表内容(態度含む)		
	その他		
教科書と参考図書			
教科書:「保育原理」待井和江編 ミネルバ書房 参考書:授業中に指示する			
履修上の留意点・ルール			
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等の持ち込み禁止。			